

経営比較分析表（令和3年度決算）

熊本県 五名市

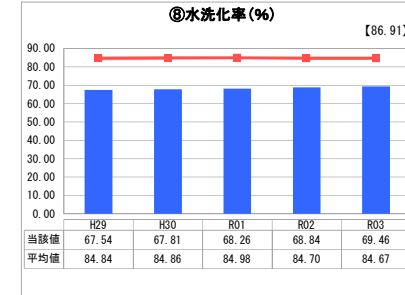
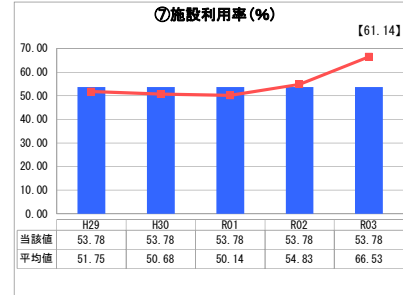
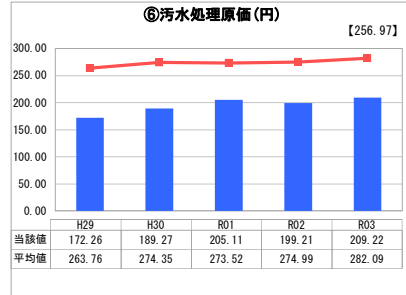
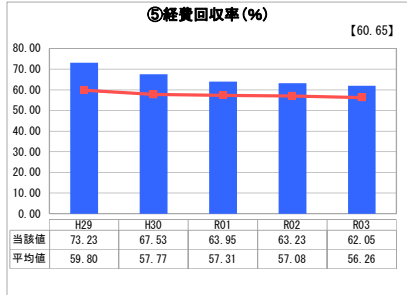
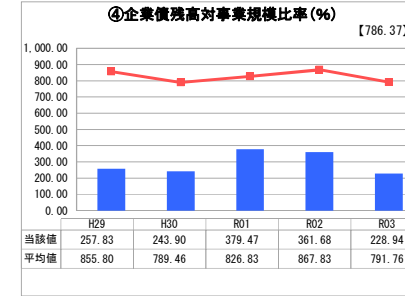
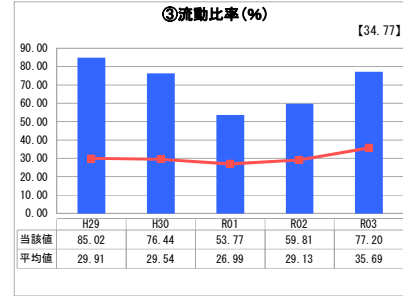
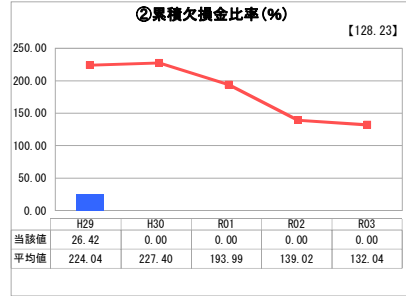
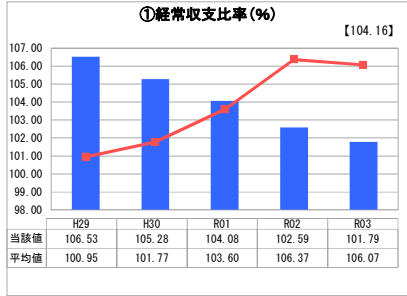
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	57.25	10.72	100.00	3,613

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
64,753	152.60	424.33
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
6,893	3.66	1,883.33

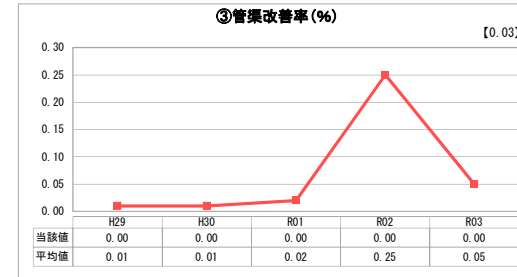
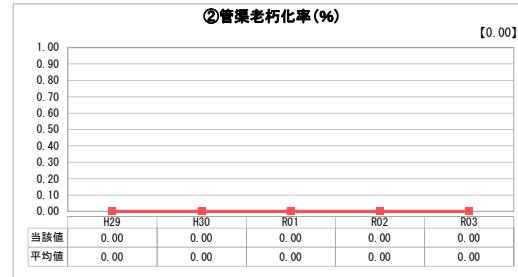
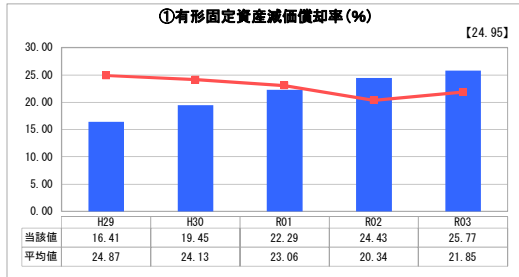
グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ・経常収支比率は、100%を上回り黒字経営ではあるものの一般会計からの基準外繰出金に頼っているからであり依然厳しい経営状況です。
- ・流動比率は、100%に届かず短期的支払返済能力が確保されているとは言えない状況であり経営改善が必要です。
- ・企業債残高対事業規模比率は、全国平均及び類似団体より低水準であるが現在の事業規模や経営状況のままで、債務弁済財源の確保が難しい状況にあります。
- ・経費回収率は、全国平均及び類似団体を上回っているものの100%には届かないため、今後も接続率の向上に努め使用料収入の増加を図ります。
- ・汚水処理原価は、全国平均及び類似団体の数値より低く推移しているが更に維持管理費の削減や接続率の向上による有収水量を増加させる経営改善を図ります。
- ・施設利用率は、全国平均及び類似団体を下回っているため、今後は処理場の効率的運用に努めていく必要があります。
- ・水洗化率は、全国平均及び類似団体を下回っており、下水道への接続勧奨を進め適正な使用料収入と施設稼働を確保していく必要があります。

2. 老朽化の状況について

- ・有形固定資産減価償却率は、増加傾向にあり引き続き老朽化しつつある施設や設備を適切に維持管理しながら、下水道の機能を確保していく必要があります。
- ・管渠老朽化率、管渠改善率は、対象となる老朽化管渠が発生していないため、0%となっており、本指標からは老朽化についての懸念材料は検出されていない状況です。

全体総括

・令和2年度に農業集落排水施設最適整備構想を策定し、令和3年度に中長期的な視点から収入と支出のバランスを確保すべく経営戦略を見直しました。今後も経営基盤の強化と料金改定を視野に入れた健全な事業運営を進めていきます。

・今後も効率的な施設整備と適切な使用料水準及び接続勧奨の推進により、将来安定した経営を継続できるように取り組んでいきたいと考えています。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。